

の國爭戰術並に具體的方針とを嵐の様なフアツシヨの怒濤を賦つて協議される事を祝す。此の世の種即ち命の根を作る貧農小作民は虐待され、俺達失業者も虐待されてゐる、徳川幕府の制度は四公六民の政策であつたが現在ではそうでない、地主に納める小作米は地主の腹を肥やし、税金となり、中央政府の經濟の臺所大蔵省の金となつた、農民の働いた金は大部分地主に取りられ一部は御上の金となり、一部は役人の俸給、或は鐵道、船會社の産業補助の名目で資本家の玉子に渡されてゐる、こうしたもの許りではなく吾々の親爺兄弟は北海道の土木事業や松島炭坑の監獄部屋に叩き込んで奴隷同様に搾り上ぐるだけ搾られ、中止

八幡失業者同盟 正 田 豊

財團協調會福岡出張所

全農全國會議の顧問、佐賀の同志が組織を持つてより第七回目の大會を迎へられたるを祝す、吾々は八幡に於ける失業者である、貧農小作人はドン底の生活をして居るのた、吾々都市労働者の賃金は壹圓拾錢である、現在米は一升參拾五錢もするし仕事は雨か降ればない、三日も降れば一家飢へる状態た、米が貳拾錢の時賃金壹圓貳拾錢で參拾五錢の今日壹圓拾錢に下げられた、全失業労働者は要求を掲げて市當局に押かけた、三井の救済米は雨が降つた翌日に支給され三日目毎に一人頭に二合五勺を支給される、從來の一日おきが延ばされてゐる、それでは生きて行かれぬではないか、何とかしてくれと荒川社會課長、守田土木課長を訪れたが縣の方針だから仕方ない、労働賃金は先を思つて勢力してゐるのだから辛棒

財團協調會福岡出張所